【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第１項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年２月13日
【四半期会計期間】	第120期第３四半期(自　平成25年10月１日　至　平成25年12月31日)
【会社名】	神東塗料株式会社
【英訳名】	SHINTO PAINT COMPANY, LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　玉　村　隆　平
【本店の所在の場所】	兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
【電話番号】	大阪06(6426)3355(代表)
【事務連絡者氏名】	企画・経理室部長　　村　野　義　博
【最寄りの連絡場所】	兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
【電話番号】	大阪06(6426)3355(代表)
【事務連絡者氏名】	企画・経理室部長　　村　野　義　博
【縦覧に供する場所】	神東塗料株式会社本社(東京) (東京都江東区新木場四丁目３番17号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町２番１号)

第一部 【企業情報】

第１ 【企業の概況】

１ 【主要な経営指標等の推移】

回次		第119期 第３四半期 連結累計期間	第120期 第３四半期 連結累計期間	第119期
会計期間		自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日	自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日	自 平成24年４月１日 至 平成25年３月31日
売上高	（百万円）	17,642	17,959	23,383
経常利益	（百万円）	1,208	820	1,518
四半期（当期）純利益	（百万円）	722	418	826
四半期包括利益又は包括利益	（百万円）	820	618	994
純資産額	（百万円）	14,194	14,780	14,368
総資産額	（百万円）	34,550	36,065	34,847
１株当たり四半期（当期）純利益金額	（円）	23.31	13.51	26.68
潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額	（円）	―	―	―
自己資本比率	（%）	39.9	39.7	40.0

回次		第119期 第３四半期 連結会計期間	第120期 第３四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年10月１日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月１日 至 平成25年12月31日
１株当たり四半期純利益金額	（円）	9.27	6.20

（注）１ 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
２ 売上高には、消費税等は含まれておりません。
３ 「潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

２ 【事業の内容】

当第３四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（塗料事業）

第１四半期連結会計期間において、重要性が増した神之東塗料貿易(上海)有限公司及びPT. Shinto Paint Indonesiaを連結子会社にしております。

なお、当第３四半期連結会計期間において㈱中部シントーは、清算結了したため、連結の範囲から除外しております。

この結果、平成25年12月31日現在では、当社グループは、当社、親会社、子会社10社（うち、持分法を適用しない非連結子会社１社）及び関連会社４社（うち、持分法を適用しない関連会社１社）により構成されることとなりました。

第２ 【事業の状況】

１ 【事業等のリスク】

当第３四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

２ 【経営上の重要な契約等】

当第３四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

３ 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融緩和政策などの経済政策の効果により円安・株高が進み、景況感の改善が見られるものの、新興国経済の減速等の影響を受け、さらには消費税増税後の景気減速懸念により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループにおきましては、こうした経済状況の中で新製品の開発による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業の展開とともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は17,959百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。損益面では、営業利益は655百万円（前年同四半期比37.1%減）、経常利益は820百万円（前年同四半期比32.1%減）、四半期純利益は418百万円（前年同四半期比42.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（塗料事業）

アルミ電着塗料はアルミサッシ建材を主としたユーザー向けの出荷が引き続き堅調に推移し、さらには消費税増税による駆け込み需要や震災復興需要などにより各ハウスメーカが増産体制に入ったことにより好調に推移するとともに、主力ユーザーの新規ライン獲得による当社シェアの拡大などにより、売上は増加いたしました。

工業用電着塗料は、自動車部品、鋼製家具、住宅部材などは消費税増税の駆け込み需要並びに新規ユーザーの獲得などによる出荷量の増加もありましたが、大手ユーザーの生産拠点の海外移転による減少もあり、売上は前年並みとなりました。

粉体塗料は、建材、鋼製家具、電気製品、自動車部品の既存ユーザー向けが順調に稼動しており、新規ユーザーの獲得に加え、これまで低調であったＬＰＧボンベ向けも需要期に入り、出荷量が増加したことにより、売上は増加いたしました。

工業用塗料は、建材関連と形鋼製品及びゴルフボール向けは引き続き堅調に推移し、これまで不調であった主力分野の工作機械及び建設機械向けが緩やかな回復傾向を持続しましたが全体としては売上は減少いたしました。

建築塗料は、外装はほぼ順調に推移し、大手ユーザー向けも堅調に推移しましたが、汎用の伸びが鈍く、売上は前年並みとなりました。

防食塗料は、市場は公共需要増に期待があるものの、新設橋梁向けの出荷のずれ込みが続いており、売上は減少いたしました。

道路施設用塗料は国交省の指導により地方自治体に道路安全対策予算が計上され、主力のカラー舗装材、すべり止め材及び段差修正材の出荷が好調に推移し、区画線用についても好調を維持したことにより、売上は大幅に増加いたしました。

軌道材料製品については、スラブ補修材が主力ユーザー向けが好調に推移しましたが、10月以降は工事が一段落したため、出荷の鈍化傾向が続き、主力の道床安定剤も需要期が過ぎたことにより出荷量が減少し、売上は大幅に減少いたしました。

自動車用塗料は、主力ユーザー向けの出荷が引き続き堅調に推移し、売上は大幅に増加いたしました。

この結果、売上高は16,679百万円（前年同四半期比2.4%増）、経常利益は828百万円（前年同四半期比31.0%減）となりました。

（化成品事業）

受託生産している化成品の売上高は1,279百万円（前年同四半期比5.1%減）、経常損失は７百万円（前年同四半期は７百万円の経常利益）となりました。

(2)　財政状態の分析

（総資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が238百万円、たな卸資産が168百万円、有形固定資産が189百万円、投資その他の資産が550百万円増加したこと等により36,065百万円（前連結会計年度末比1,218百万円増）となりました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が510百万円、短期借入金が295百万円、長期借入金が131百万円増加し、賞与引当金が108百万円、未払法人税等が29百万円減少したこと等により21,284百万円（前連結会計年度末比805百万円増）となりました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が233百万円増加したこと等により14,780百万円（前連結会計年度末比412百万円増）となりました。

(3)　事業上及び財務上の対処すべき課題

当第３四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4)　研究開発活動

当第３四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は142百万円であります。また研究開発による新製品・新品種は下記の通りであります。

（塗料事業）

・クイックエポシーラーⅡ(屋根材用ターペン可溶形エポキシ変性アクリル樹脂系シーラー)
・シントーフロン＃100Sマイルド上塗(２液ターペン可溶形ふっ素樹脂系高耐候性上塗り塗料)
・シントーサクセード＃3700ECO F-2S(低攪拌形省エネタイプ電着塗料)
・シントーサクセード＃3700ECO F-1S5Y7/1半艶(低攪拌形省エネタイプ電着塗料)
・シントーサクセード＃80V2 F-1黒（スズフリータイプ電着塗料）
・ユカトップA-EX（環境配慮形アクリル樹脂系溶剤タイプ塗床材）

・シントーフロン＃100S-HB（厚膜タイプのふっ素樹脂上塗り塗料）

・シントージンク＃5000（鋼構造物用下塗り塗料）

第３　【提出会社の状況】

１　【株式等の状況】

(1)　【株式の総数等】

①　【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	112,000,000
計	112,000,000

②　【発行済株式】

種類	第３四半期会計期間末現在発行数(株)(平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株)(平成26年２月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	31,000,000	31,000,000	東京証券取引所(市場第一部)	単元株式数は1,000株であります。
計	31,000,000	31,000,000	―	―

(2)　【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)　【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)　【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)　【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(千株)	発行済株式総数残高(千株)	資本金増減額(百万円)	資本金残高(百万円)	資本準備金増減額(百万円)	資本準備金残高(百万円)
平成25年12月31日	―	31,000	―	2,255	―	585

(6)　【大株主の状況】

当四半期会計期間は第３四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第３四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年９月30日の株主名簿により記載しております。

① 【発行済株式】

平成25年９月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	―	―	―
議決権制限株式（自己株式等）	―	―	―
議決権制限株式（その他）	―	―	―
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 14,000	―	―
完全議決権株式（その他）	普通株式 30,934,000	30,934	―
単元未満株式	普通株式 52,000	―	―
発行済株式総数	31,000,000	―	―
総株主の議決権	―	30,934	―

(注) 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」の欄には証券保管振替機構名義の普通株式が6,000株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る普通株式の議決権が６個含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年９月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(株)
（自己保有株式） 神東塗料株式会社	兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号	14,000	―	14,000	0.05
計	―	14,000	―	14,000	0.05

２ 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第４　【経理の状況】

１．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

２．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第３四半期連結会計期間（平成25年10月１日から平成25年12月31日まで）及び第３四半期連結累計期間（平成25年４月１日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,428	1,667
受取手形及び売掛金	※3 8,284	※3 8,332
商品及び製品	1,885	2,053
原材料及び貯蔵品	617	617
その他	297	350
貸倒引当金	△37	△28
流動資産合計	12,475	12,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,419	2,488
機械装置及び運搬具（純額）	846	894
土地	16,247	16,247
その他（純額）	225	299
有形固定資産合計	19,739	19,929
無形固定資産	385	346
投資その他の資産		
投資有価証券	1,564	2,165
その他	711	686
貸倒引当金	△29	△54
投資その他の資産合計	2,246	2,796
固定資産合計	22,371	23,071
資産合計	34,847	36,065
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 7,255	※3 7,766
短期借入金	3,397	3,692
未払法人税等	164	134
賞与引当金	215	106
役員賞与引当金	15	11
その他	※3 1,037	※3 1,038
流動負債合計	12,086	12,750
固定負債		
長期借入金	1,985	2,116
再評価に係る繰延税金負債	4,557	4,557
退職給付引当金	1,187	1,205
役員退職慰労引当金	8	8
その他	653	646
固定負債合計	8,391	8,534
負債合計	20,478	21,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	3,854	4,088
自己株式	△2	△2
株主資本合計	6,692	6,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	67
土地再評価差額金	7,282	7,282
為替換算調整勘定	△47	32
その他の包括利益累計額合計	7,259	7,383
少数株主持分	415	471
純資産合計	14,368	14,780
負債純資産合計	34,847	36,065

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日)
売上高	17,642	17,959
売上原価	13,753	14,280
売上総利益	3,889	3,678
販売費及び一般管理費		
発送費	426	461
広告宣伝費及び販売促進費	81	119
従業員給料及び手当	824	865
賞与引当金繰入額	44	47
退職給付費用	96	92
減価償却費	114	116
試験研究費	116	142
その他	1,143	1,178
販売費及び一般管理費合計	2,847	3,022
営業利益	1,041	655
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	12
受取賃貸料	23	16
持分法による投資利益	156	160
その他	12	17
営業外収益合計	209	208
営業外費用		
支払利息	23	18
投資有価証券評価損	9	0
為替差損	0	23
その他	8	0
営業外費用合計	42	42
経常利益	1,208	820
特別損失		
固定資産除却損	4	14
支払補償費	―	38
特別損失合計	4	52
税金等調整前四半期純利益	1,204	768
法人税等	408	280
少数株主損益調整前四半期純利益	795	487
少数株主利益	72	68
四半期純利益	722	418

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主利益	72	68
少数株主損益調整前四半期純利益	795	487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	51
為替換算調整勘定	－	17
持分法適用会社に対する持分相当額	14	61
その他の包括利益合計	25	131
四半期包括利益	820	618
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	745	544
少数株主に係る四半期包括利益	75	74

【注記事項】

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

当第３四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)
１　連結の範囲の重要な変更 第１四半期連結会計期間より、重要性が増した神之東塗料貿易(上海)有限公司及びPT. Shinto Paint Indonesiaを連結の範囲に含めております。 なお、当第３四半期連結会計期間において㈱中部シントーは、清算結了したため、連結の範囲から除外しております。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

	当第３四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)
１　税金費用の計算	税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

１　保証債務

連結会社以外の会社の金融機関からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
PT. Shinto Paint Indonesia	84百万円 (900千USドル)	－ (－)
PT. Shinto Paint Manufacturing Indonesia	－ (－)	197百万円 (230億インドネシアルピア)

２　手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形割引高	1百万円	－

※３　四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第３四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	464百万円	386百万円
支払手形	360百万円	312百万円
設備関係支払手形	114百万円	46百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日)
減価償却費	368百万円	402百万円

(株主資本等関係)

前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１　配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	１株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年５月11日 取締役会決議	普通株式	123	4.00	平成24年３月31日	平成24年６月８日	利益剰余金

２　基準日が当第３四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第３四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

１　配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	１株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年５月10日 取締役会決議	普通株式	154	5.00	平成25年３月31日	平成25年６月７日	利益剰余金

２　基準日が当第３四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第３四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	16,294	1,348	17,642	17,642
セグメント利益	1,200	7	1,208	1,208

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　　益	金　　額
報告セグメント計	1,208
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	1,208

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	16,679	1,279	17,959	17,959
セグメント利益又は損失（△）	828	△7	820	820

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　　益	金　　額
報告セグメント計	820
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	820

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第３四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日)
１株当たり四半期純利益金額	23.31円	13.51円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	722	418
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	722	418
普通株式の期中平均株式数(千株)	30,985	30,985

(注) 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

２ 【その他】

該当事項はありません。

第二部　【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年２月13日

神東塗料株式会社
　取締役会　御中

有 限 責 任 あ ず さ 監 査 法 人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中　尾　正　孝　印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	谷　口　誓　一　印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている神東塗料株式会社の平成25年４月１日から平成26年３月31日までの連結会計年度の第３四半期連結会計期間(平成25年10月１日から平成25年12月31日まで)及び第３四半期連結累計期間(平成25年４月１日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任
経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任
当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。
四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論
当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、神東塗料株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第３四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係
会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

(注) １．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
２．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。